

会 議 録

1 会議名

令和3年度 第7回三郷区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 「地域協議会に関する意識調査」結果を受けた取組について（公開）

(2) 自主的審議事項について（公開）

- ・ 「三郷地区公民館の整備について」
- ・ 「三郷区の郷土芸能 無形文化財『春駒』の伝承について」

3 開催日時

令和3年11月12日（金） 午後6時30分から午後8時33分まで

4 開催場所

三郷地区公民館 集会室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

- ・ 委 員：竹内浩行（会長）、伊藤善一（副会長）、保坂裕子（副会長）
市村 学、伊藤光夫、小山和美、荻戸 正、平田 清、平田伸一、
山口典夫、吉田一彦、渡部弘美（欠席者なし）
- ・ 事務局：南部まちづくりセンター 堀川センター長、小池係長、五十嵐主任

8 発言の内容

【五十嵐主任】

- ・ 12人の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・ 同条例第8条第1項の規定により、議長は竹内会長が務めることを報告

【竹内会長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 会議録の確認：荻戸委員、平田 清委員に依頼

次第2「議題等の確認」について、事務局に説明を求める。

【堀川センター長】

- ・資料により説明

【竹内会長】

- ・事務局の説明について、質問のある委員の発言を求めるがなし。

— 次第3議題(1)「地域協議会に関する意識調査」結果を受けた取組について —

【竹内会長】

次第3議題(1)「地域協議会に関する意識調査」結果を受けた取組についてに入る。

前回の会議では、市から地域協議会に投げかけられた「意見交換」「会議運営」「情報発信」の3点について、今後の取組や進め方の改善点等、意見を伺った。本日は、その意見をもとに整理した三郷区の取組案について協議する。まず、その内容について、事務局より説明を求める。

【五十嵐主任】

- ・資料No.1により説明

【竹内会長】

資料No.1を順に協議する。

まず、「ア 意見交換について」である。

現在、取組んでいる自主的審議事項について意見交換等、いろいろなところとたくさん進めていけばよいのだが、タイミング的なものもあり今後、進めていく中で考えていきたい。「三郷区の取組(案)」として、資料右側に記載のように、2点に整理をした。

「ア 意見交換について」、意見を求める。

【平田伸一委員】

自主的審議事項以外の案件について、資料に「地域住民との意見交換会の実施にあたっては、目的、対象、目指すゴール等を協議したうえで実施する」と記載され

ている。中身については、今の段階で詰める話ではないということで、その都度その場で話し合っていくとの考えでよいか。

自分の感想なのだが、地域協議会委員は個人として地域協議会に参加していると思う。自分は三郷地区の現状、状況は見えなため分からない。分かるようにするには、意見交換も必要なことだとは思いますが、1つの事象を審議する場合には、三郷区地域協議会委員12人全員が同じように物事に対する認識を持っていることが前提で、地域のいろいろな課題に取り組んでいくべきだと思う。そのため、地域の現状を委員12人全員で共有する、同じ情報を持っているという前提をできるだけ早く作る必要があると思う。委員の中でも、何期も務めている委員もいるし、今期は8人が新規委員である。やはり、認識に違いがある。そういったことをフラットにする前提がなければ、地域の課題や方向性を出すことは難しいと思っている。地域のことをまずは知るという意味で、意見交換会が必要だと思う。

【竹内会長】

一昨年、初めて委員になられた方も同様に「地区の課題がよく分からない」、課題出しの際にも「各団体等との意見交換等を経て、課題等を見つけていきたい」といった意見もあった。

平田伸一委員の発言にあったように、地域に入り込んで課題を見付けることができれば1番よいと思うが、なかなかそういった場面もないように思っている。今後も地域協議会委員として、地域に入り込んで課題等を引っ張り出すことができれば1番よいと思う。そういったことも踏まえ、今回自主的審議事項として「公民館の整備」と薄れつつある「春駒の伝承」を掲げて進んでいるところである。

今後とも問題点・課題点を見つけ、共有しながら常にさまざまな団体等と意見交換を行いながら、課題などを見つけていくことができればと思っている。

長く地域協議会委員を務めている山口委員より、発言を求める。

【山口委員】

地域のことを1番わかっているのは、各町内のトップである町内会長だと思っている。過去にも町内会長と話をし、そして地域協議会で協議するものがあれば審議してきたと思っている。平田伸一委員の発言にあったように、地域の実情が分か

らないということであれば、勉強しなければならないと思う。

実情は町内会長が1番よく分かっており、また「まちづくり振興会」の役員もいる。全員が参加しなかったとしても、団体の役員や事務局、担当者と地域協議会委員が研修会等を実施してはどうか。そこで事情を聞いて地域協議会で取り上げられるものがあれば、正副会長や事務局と相談をして進めていけばよいと思う。

【竹内会長】

発言のとおりだと思う。

最後に発表しようと思っていたが、次回の地域協議会の中で、三郷地区町内会長協議会との意見交換を計画しているところである。

公民館の整備計画、春駒、それ以外にもいろいろな課題があると思う。そういったことを皆さんで共有し、今後、取組んでいくべきと考えている。

現在、自主的審議事項で進んでいる2項目に限らず、意見交換等を行って新たな課題を見付けていくことができればよいと思っている。

- ・他に意見等を求めるがなし。
- ・「ア 意見交換について」、「三郷区を取組（案）」で進めることとしてよいかを諮り、承諾を得る。

【平田伸一委員】

「三郷区を取組（案）」の中に、「自主的審議事項以外の案件」との記載があるが、自分としてはやはり自主的審議事項についても、地域の皆さんや地域団体等と協議していく必要があると思う。

2つに分けてしまうこともおかしなことであるため、町内会長と意見交換をする機会があるのであれば、そういったことも一緒に協議すべきだと思う。

自主的審議事項として決めたことは、地域にとって重要な案件であり、そのために協議・研究していくことを決めたわけである。それは町内会長にとっても同様だと思う。そのため、自主的審議事項も含めて協議すべきだと思う。

また各町内会長の中には、今年度より町内会長となった人や10年以上町内会長を務めている人もいる。そのため、1つのものに対する認識の違い等も当然あると思う。それは地域協議会委員と同様だと思う。

うまく進められるような内容で意見交換ができればよいと思う。

【竹内会長】

当然、現在取組んでいる自主的審議事項の2項目についても、投げかけるつもりでいる。各町内会長のレベルで認識していただき、同じテーブルで意見交換ができればよいと考えている。「自分の地区は関係ない話」ということは、決してないと思っている。各町内会長や関係する方々と同じレベルの中で考えていくことができればよいと思っている。

また、その他にも各町内で問題となっていることもあると思う。そういったことも地域協議会の中で共有していくことが大事だと思っている。

そのような形で、意見交換を進めていきたいと思う。

以上で「ア 意見交換について」を終了する。

次に「イ 会議運営について」に入る。

「今までどおりでよい」との意見もあり、また今後、検討していかなければならない部分もある。

前回、「木曜日を除く日程で開催」との意見があり、今回も木曜日を除いた日程で実施している。開催時間については、「現行どおり」としている。会議の運営方法について、これまでは「事務局・正副会長に一任」とはどういったことなのかとの意見もあった。今までの会議では、「一任」という言葉を使って重大なことを決めたりせず、合意にあたっては皆さんに問いかけながら、必ず確認をして次に進んでいるという認識でいる。一方的に専決したことはないと思っている。今までどおり十分に議論して結果を出していくことを基本としながら、とことん議論して時間の許す限り会議を進めていければと思っている。

「イ 会議運営について」、意見を求める。

【平田伸一委員】

「別日に会議を開催するなどの対応を考える」と書いてあるが、費用弁償はどうなるのか。予算には枠があり、無制限ではないことは承知している。

【堀川センター長】

その分の予算は確保できると思う。予算の枠にとらわれず議論を進めてほしい。

【竹内会長】

時間内に結果が出なかった場合、一旦持ち帰り、改めて次回協議することは問題ないと思う。改めて招集がかかるが、頭の中を整理して会議に臨むこともよいと思う。

皆さんからはどんどん意見を出してもらい、答えが出なかった場合には、別日に会議を開催することも考えて対応していきたいと思う。

他に意見等あるか。

【山口委員】

別日というのは非常によいと思う。会長はポジティブに考えて話をしていると思うが、柔軟に考えてほしい。それに縛られてしまうと各々時間がある。柔軟に考えて、進めてもらえればよいと思う。

【竹内会長】

別日に会議を設け、頭を整理してもう一度会議に臨むことについてどう思うか。

市村委員の発言を求める。

【市村委員】

よいと思う。

【竹内会長】

本当に答えが出なかった時に、1度持ち帰って整理し直したいということになれば、別日に会議を開催してもよいと思っている。

【平田伸一委員】

正副会長会議で出た意見について、これでよいかの確認をこの会議の場でしているだけでは、我々委員の立場からすると、その決定した結果を聞くことと、決定までの議論に関わっていること、それぞれの認識の仕方、入ってくるものが全然違う。結論を出していくその過程、決めていくこと。一つのことを協議して決めていくのが地域協議会だと思っている。そのため、決めること、話し合っただけ最後の結論を出すということは非常に大事な事だと思う。その過程を大事にしていく中で、委員がそういったことに対する理解が深まっていく、分っていく、分ろうとする過程だと思うので、是非それを大事にして欲しいと思う。

【竹内会長】

言われるとおりに話し合っていく過程は結果より大事な場面もあり、大事な課題もあると思う。極力皆さんで議論をして、結果・過程等を大事にしながら進めていくことができればと思っている。

2班に分かれている項目もあるが、効率的で意見も出しやすい・まとまりやすい、その後皆さんに報告をしながら、今後の話し合いの糧にしてもらっている。

最終的に全体会で報告し合っ、そこでその意見に対すること等も確認している。
・「イ 会議運営について」、「三郷区を取組（案）」の内容で進めてよいかを諮り、承諾を得る。

以上で「イ 会議運営について」を終了する。

次に「ウ 情報発信について」に入る。

特に地域住民への問題提起をする内容について、冒頭の意見交換のところ、地域が考えていることがどうなのか、わからないことで問題が出てくるところではある。地域住民とのキャッチボールをうまくやっていたら、1番よいかと思う。

平田伸一委員の発言の中で、地域住民より声を返してもらえるような仕組みがあればよいが、地域に入り込んで意見を吸い上げるようなタイミングもなかなかない。皆さん仕事を持ちながら、地域の町内会等にも参加していると思う。地域の集まり等に出席できる立場の人と、できない立場の人もいると思うが、そういった形の中で、地域協議会委員として地域や町内会等に発言できるような場面があれば、話も変わってくると思うが、そういった場面はなかなか期待できない。

平田伸一委員より、地域住民から声を返してもらえるような仕組みについて、何か具体的な案等があれば発言願う。

【平田伸一委員】

特にはない。アンケート調査のようなものも、やり方によってはある気がする。

検討するということだが、今までの地域協議会だよりの発行体制について聞いた時、月1回の正副会長会の時に事務局と一緒に、中身を協議して決めているとのことであった。確かにそうだと思うが、作成しているのは事務局であり、かなりの労力が必要なため、作るだけでも大変だと思っている。そのような中で、委員として

もっと関わる必要があるような気がしている。正副会長も忙しいと思うため、今すぐに結論を出すような話ではないが、地域協議会だよりの発行体制について、どうしたらよいのかをもう少し考えてもらう必要があると思っている。やはり、地域協議会だよりに対する重要性なりを、お互いが再確認し合う必要がある気がする。

【竹内会長】

発行の体制については、内容等を精査しながら事務局である程度作成している場面が多い。それを正副会長が校正をしている。内容等の変更もあるが、前期と比べるとかたちの的にも変わってきている。

三郷区の皆さんがまだ知りえないような「春駒」の状況や「地域のお宝」等、協議している内容に関する写真をタイムリーに表紙に掲載していることが、今年度の特長かと思う。そういった状況の中で、批判や意見等もあると思う。

情報発信に対して、人によって思っている度合いが違うため、温度差があると思う。地域協議会だよりの発行について、変更していかなければならないタイミングに来ているのかもしれない。そのことも含めて、今後とも考えていければと思っている。

市村委員より意見のあったSNS等の利用については、市の検討課題としている。

若い市長が就任されたため、いろいろと変わっていく場面もあるかと思う。今後、情報発信について、考えていくことができればよいと思う。

- ・他に意見等のある委員の発言を求めるがなし。
- ・「ウ 情報発信について」、「三郷区の取組（案）」の内容で進めてよいかを諮り、承諾を得る。

三郷地区公民館の一角に、地域協議会のスペースを確保した。何か情報等ある委員がいれば、スペースの許す限りで活用してほしいと思う。

以上で次第3議題（1）「地域協議会に関する意識調査」結果を受けた取組についてを終了する。

— 次第3議題（2）自主的審議事項について —

【竹内会長】

次第3議題（2）自主的審議事項についてに入る。

前回の会議にて、各班で話し合った内容が資料No.2に整理されている。

本日はこの内容をもとに、各班で話し合いを深めてほしい。

— グループワーク（約45分） —

会議を再開する。

これより各班で話し合った内容について、簡潔に発表願う。

最初に公民館班より、発表願う。

【保坂副会長】

公民館班では、前回出された地域協議会として市に意見書を出すこと。事前に町内会長協議会と話し合いをすること。新築を主とした意見書を作成するが、当座の問題としてトイレ・照明等について改修を望むという内容を話し合った。

今回、新道区と金谷区で出された意見書を参考資料にして、どのような内容を盛り込んで作成すればよいかについて、具体的な意見を出してもらった。

施設の現状や利用者の声、地域協議会としてどのような取組をしてきたのか、また話し合いの結果の取組ということで、多くの意見を出してもらった。

最後に、意見書を作成するにあたりデータを添付することで、より分かってもらえるような意見書を作成したいということ。まちづくり振興会として要望書が出ていることの2点を確認した。

まだ意見書の文章ができていないわけではないが、話し合いの中でいろいろな思いが、より明確にまとまってきたと思っている。

【竹内会長】

次に春駒班より発表願う。

【伊藤副会長】

前回、松波会の方と意見交換した時に、西松野木と下四ツ屋の両町内会長も出席した。その際、地域協議会委員と両町内会長の温度差があったというか、認識や課題の重要性に対して溝があるように感じた。

そのため、各町内会長や西松野木や下四ツ屋町内の住民の方に、もっと春駒のこ

とを知ってもらい、地域にとって大切なものだとすることを意識づけたいと思った。

年内で町内会長が変更となることもあるため、新年に町内会長や三役等が新しくなったタイミングで意見交換をしたいことでまとまった。

その中で、DVD等の資料もあるため、そういったものを少しまとめて資料にしたいと思っている。意見交換の中で、どのような感じで春駒を伝承していったらよいか、地域協議会としての案を次回の会議までに個々に考えてくるという宿題が出た。

次回はそのようなかたちで進めたいと思っている。

【竹内会長】

両班ともに、だんだんと先が見えてきたように感じている。

まだまだゴールまでには時間がかかると思うが、情報を共有しながら進んでいきたいと思っている。

・今ほどの発表に対して、質疑を求めるがなし。

以上で次第3議題（2）自主的審議事項についてを終了する。

— 次第4 事務連絡 —

【竹内会長】

次第4 事務連絡に入る。

会議の冒頭でも少し話が出たが、年内に実現するようなかたちで何とか調整ができたため、次回12月の会議の中で町内会長協議会との意見交換会を実施したいと思っている。

意見交換会の内容としては、現在、2班に分かれて進めている「公民館の整備」と「春駒の伝承」の自主的審議事項、地域の抱える課題や各町内会長が思っている課題、地域協議会が思っていること等、いろいろな意見交換ができればよいと思っている。

事務連絡について、事務局より説明を求める。

【堀川センター長】

- ・次回会議：令和3年12月13日（月）午後6時30分から 三郷地区公民館
- ・内容：三郷地区町内会長協議会との意見交換会
- ・当日配布資料：令和3年度地域活動支援事業（三郷区）主な活動等予定表

[12月まで]

男女共同参画推進センターからのおたより（5種類）

ニュースレター（上越市創造行政研究所）

地域教育往来57号（上越地域学校教育支援センター事務局）

【竹内会長】

質問のある委員の発言を求める。

【平田伸一委員】

確認である。

議題（1）の内容に戻ってしまうのだが、町内会長協議会との意見交換会の実施にあたって、何を目的に、何を目指して実施するのかを説明してほしい。

【竹内会長】

今回の自主的審議事項の課題出しをするにあたって、やはり地域を知らなければならぬといった話があった。そして、自主的審議事項は「公民館の整備」と「春駒の伝承」の2テーマで進んでいるが、町内会が抱える課題も共有したいので地域協議会と町内会長協議会が同じ意識の中で考えてほしいと思っている。

多分、各町内会の動きは、地区公民館や開発センターでの動きが多いかと思う。全体が集まることが多いのは、三郷地区公民館だと思う。自分の町内には公民館があるため、三郷地区公民館には特に思いがないという方も中にはいるかもしれないが、三郷地区公民館は昔の役場の跡であった大事な場所でもある。そういった認識も得た中で、認識をひとつにしてもらって話し合いを行いたいと思っている。

それ程、堅苦しくは思っていないのだが、自分たちが住む三郷地区をどのように考えているのか、また自分たちの町内ばかりがよいという訳ではないと思う。少子高齢化等の問題も含めたかたちの中で意見を出し合い、内容等を細かく詰めていきたいと思っている。いずれにしても、何か行動しなければならないとの思いが自分の中では強くある。皆で共通の認識が持てるよう、地域協議員という立場から、町

内会長協議会と意見交換をしてもらえるとよいと思っている。

平田伸一委員の質問の回答になっているのかは分からないのだが、自主的審議事項として審議している「公民館の整備」と「春駒」に付随する、いろいろな課題等があると思うため、それらを引き出しながら意見交換を進めていくことができればよいと思っている。

【平田伸一委員】

当日は、地域協議会委員12人、町内会長11人の合計23人が集まることになるのだが、どのようなかたちで行うのか。

全員が1つの場所に集まって話し合いを行うのか、或いは2つから3つのグループに分けて進めるのか。

その前提として、地域協議会が現在行っていることの概要や自主的審議事項の考え方の説明があつて、その後班に分かれて意見交換を行うと思っているが、まだ決まっていないのであれば、うまくいくように進めてもらいたいと思っている。

【竹内会長】

当然、地域協議会が進めてきた内容等を説明する場面も考えている。

単に地域協議会だよりで活動を知らせるだけではなく、自分たちの言葉で町内会長に伝えて行きたいと思っている。

当日の細かいところは決まっていないため、どのようなかたちで進めることがよいのか、検討・調整したいと思う。

- ・他に質問等ある委員の発言を求めるがなし。

本日の議題は全て終了した。

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 南部まちづくりセンター

TEL : 025-522-8831 (直通)

E-mail : nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせて御覧ください。